

平成24年10月12日

株式会社 山陰合同銀行

とっとりの森「カーボン・オフセット」パートナー協定調印式開催について ～環境にやさしい「国際まんが博」の実現を支援～

山陰合同銀行(頭取 久保田 一朗)では、故郷の森を整備・保全する取組を推進するなかで、平成24年10月17日(水)に鳥取県(知事 平井 伸治)と一般社団法人鳥取県東部建設業協会(会長 藤原 正、鳥取市)との間に「とっとりの森『カーボン・オフセット』パートナー協定」(以下、「本協定」という。)を締結し、同日、調印式(別紙)が行われることとなりましたのでお知らせいたします。

鳥取県では、平成21年3月に鳥取県地球温暖化対策条例を制定し、低炭素社会実現に向けた取組を推進しておられます。その中でも、森林整備・保全と林業再生に資する取組として、全国でも早い段階でオフセット・クレジット(J-VER)制度へ参画されています。さらに、J-VER制度の普及促進策として「鳥取県J-VER地域コーディネーター制度」及び「J-VERとっとりの森を守る優良企業等認定制度」といった独自の制度を創設するなど、全国的にみても極めて先進的な取組を積極的に展開されています。

一般社団法人鳥取県東部建設業協会は、本年1月に一般社団法人化を果たされ、建設業に関する調査・研究・指導等建設工事の適正な施工を確保するとともに、関係法令及びこれらに基づく施策の普及による建設業の健全な発展を目指し、取組の強化・推進を図っておられます。また、これらの取組の実践を通じ、公共の福祉の増進に寄与するという社会的使命を果たすべく支援を行なっておられます。

本協定は、当行の紹介により、一般社団法人鳥取県東部建設業協会が鳥取県の保有するJ-VERを60t-CO₂購入されることとなったものです。一般社団法人鳥取県東部建設業協会は、本年8月4日から11月25日にかけて全県下で実施されている「国際まんが博」における関連イベントの実施に際し、その会場での電力消費及びシャトルバス等の移動における燃料の使用に基づき発生する二酸化炭素を削減するために活用され、地域の自然環境に対する負荷を低減したイベントの実現に主体的に貢献されるものです。

当行は、地域と共存し発展を続けるお取引先企業に対し、企業価値の向上につながる環境経営・CSR活動の一環として、オフセット・クレジットのご紹介とカーボン・オフセットのご提案を積極的に推進しています。今後も、鳥取県をはじめとしたJ-VER事業者との連携を強化し、地球環境保全並びに地域経済活性化に資する活動を推進してまいります。

<次頁に続く>

(別紙)

＜調印式の概要＞

- (1) 日 時： 平成24年10月17日(水) 16時30分～17時00分
- (2) 場 所： 鳥取県 知事公邸 第一応接室
- (3) 出席者： (敬称略)
- ＜鳥取県＞
- 知事 平井 伸治
- ＜一般社団法人鳥取県東部建設業協会＞
- 会長 藤原 正
- ※以上は調印者
- ＜当行＞
- 代表取締役専務執行役員 石丸 文男
- (4) 式次第： ①開会／出席者紹介(概要説明)
- ②調印者署名(写真撮影)
- ③J-VER 贈呈(写真撮影)
- ④調印者挨拶(平井鳥取県知事、藤原会長)
- ⑤経緯・取組説明
- ⑥質疑応答／閉会

以上

【全体図】

